



SEEPS Policy Camp 2025

募集要項

2025 年 12 月 26-27 日

主催：環境経済・政策学会（SEEPS）

企画趣旨

環境政策の設計は環境問題の解決に重要な役割を果たしている。しかしながら、現状では、実際に設計する政策現場と、アカデミックな研究者の交流は極めて限定的であるようにみえる。そこで本企画では、これまで政策立案の現場にあまり接したことの少ない(若手)研究者と、環境政策実務を一定程度経験した環境省、経済産業省等の職員が集まり、それぞれの仕事についての理解を深め、今後の交流促進に資する関係づくりを進める。こうした機会を繰り返すことで、中長期的にはアカデミアが世界中で積み重ねている研究成果が日本の環境政策に活かされるような情報交流の活発化がシステマティックに行われるような環境づくりに発展することを期待している。

日時： 2025 年 12 月 26-27 日
場所: 株式会社 HARITA、富山大学五福キャンパス(予定)、富山国際会議場会議室（予定）
宿泊: 各自が JR 富山駅周辺に手配

担当者: 竹内憲司（京都大学）、笹尾俊明（立命館大学）、山本雅資（神奈川大学）

政策担当者: 環境省 環境再生・資源循環局 資源循環ビジネス推進室、および経済産業省 イノベーション・環境局 GX グループ 資源循環経済課からそれぞれ 2 名ずつ参加

テーマ: 「日本のサーキュラーエコノミー政策が目指すべき姿」

プログラム

初日	
10:45-12:15	【オプション】富山市コンパクトシティ視察（予定）
13:00	富山駅集合
13:30-16:00	サーキュラーエコノミー関連施設見学（株式会社 HARITA 射水リサイクルセンター）
16:30-18:30	研究プレゼンⅠ（3 名: 各プレゼン 15 分+質疑 15 分） ※研究プレゼンは政策立案者に理解してもらうことを目的として、ノンテクニカルサマリーのようなものを想定。なぜそのような分析手法が必要であるかとその結果を重点的に報告する。
19:00-	夕食
二日目	
09:00-10:00	政策現場からの課題プレゼン
10:00-11:30	研究プレゼン#2（3 名: 各プレゼン 15 分+質疑 15 分）
11:30-12:30	ディスカッション
12:45-	昼食、解散

参加費

無料（旅費、宿泊費を支給）

応募条件

1. 募集人数：最大で6名。
2. 環境経済・政策学会の学会員であること。
3. 博士課程在学中やアーリーキャリアの方にご参加いただきたいと思います、それ以外の応募を制限するものではありません。
4. これまでの政策実務での経験は問いませんが、国際的な学術研究の蓄積を日本の環境政策に反映する意思があることを求めています。
5. 今回のテーマは「日本のサーキュラーエコノミー政策が目指すべき姿」となっていますが、生物多様性分野や気候変動分野からのサーキュラーエコノミー政策への接近も歓迎します。

申込方法: 下記 2 点をメールで期日までに送付してください。

1. CV または履歴書
2. 報告する研究の概要とその政策的意義（A4 で 2 ページ程度、様式自由）
 - 研究概要には、自身の研究に関連する先行研究のノンテクニカルなサマリーと代表的な文献のリストをつけてください。
3. 送信先メールアドレス： seeps-post@as.bunken.co.jp（件名に「SEEPS Policy Camp 申し込み」と明記すること）
4. 問い合わせ先メールアドレス： 上記のメールアドレスにお送りください。

応募締切と結果通知の予定

締切は、2025 年 8 月 31 日（日）とします。申し込み多数の場合は、担当者で選考を行い、2025 年 9 月中旬までに可否の結果をメールにて通知します。

以上